



ハ王子支部ニュース

<https://tokyoso-hachioji.com/>

E-mail : hachiojitu@nifty.com

HP Tel : 042(623)1141

オリパラ 観戦引率

- ・公共交通機関を利用して、安全に引率できるのか。
- ・移動や観戦中の体調不良に対し、医療機関は受け入れてくれるのか。
- ・コロナ禍、猛暑の中を移動し、マスクをしたまま観戦の意味は？
- ・観戦は授業扱い、行くのが当然という雰囲気、何かヘンでは。

6月4日の朝日新聞は、大会組織委員会が『自治体を通じ、今月下旬まで学校からのキャンセルを受け付けていることが分かった』と報じています。安全・安心のため、観戦中止を選択した自治体が次々と増える中、東京都、ハ王子市は全く動きがありません。今後の対応に注視したいです。

市教委・校長・学運協へ（子どもと教育を守る市民の会）
子どもたちと教職員のいのちと安全を守るために

学校からのオリ・パラ観戦を中止を要請

延長された三回目の緊急事態宣言が間もなく期限を迎えます。感染者数は一見抑えられたかに見えますが、専門家試算では、新たな変異株が7月中旬に過半数を占め、各地で感染、クラスターが発生するとの予想もあります。菅首相や政府は、五輪開催のためだけにワクチン接種のスピードを加速しているようですが、変異株は「若者も重症化する」「子どもを通じて感染が拡大する」などの危惧もあります。これは、安心・安全とは程遠い状況で、オリ・パラを迎えることになります。

この状況の中、コロナ禍以前に計画された児童生徒等のオリ・パラ観戦計画が、そのまま進められようとしています。学校連携、全国で128万人、東京都だけで90万人が動員されます。オリ・パラ観戦は、コロナ禍は勿論、熱中症の時期でもあります。公共交通機関での会場への移動の危険性は当然ですが、児童生徒の体調が急変した場合の対応、会場での感染防止対策も示されず、引率する教職員の負担も心配です。これでは、学校から子どもたちをオリ・パラ観戦に引率することは、あまりにも無謀と言わざるを得ません。

報道によると、都教育庁指導企画課の神田恭司・主任指導主事は『感染当日の暑さやコロナ感染の状況を踏まえて、校長が中止を判断することもできること』と理解を求めました。当日の状況を待つまでもなく、子どもと教職員のいのちに危険があることは明瞭かです。市教委、校長は、学校からのオリ・パラ観戦を直ちに中止するべきです。

2021年3月12日、荻生田文部科学大臣は、小中高、特支などの教員に10年に1回の講習を義務付ける「教員免許更新制」について、抜本的な見直しを議論するよう中教審に諮問しました。

教員免許状更新制を 廃止してください

毎日新聞の記事によると、中教審は2021（令和3年）度のできるだけ早い段階に見解を取りまとめるとしています。教員はただでさえ、多忙、激務、土日もつぶして教材研究や部活指導をしています。さらに10年に1回やってくる教員免許の更新は、現場からは非難が山のように出ている制度です。

いつから廃止になるのか？完全に廃止になるのか？詳細は定かではないのですが、緊急に声を上げていくことが大切です。

これから中央教育審議会（中教審）の議論を経て、もしそこで廃止が決定すれば、早く2022（令和4）年度から廃止と言われています。5月24日に中教審が開催され、とりまとめ役の加治佐哲也・兵庫教育大学長によれば、次の委員会で存続または廃止の結論を出す予定、とのことです。ただし、

- 各教育委員会が行っている研修を当てる
- オンライン学習も可能とするなど私たちの望まない案もあり、完全廃止とはならない可能性も示唆されています。

全教・都教組の主張

個人署名
まだの方
ようしく！
緊急！6月末まで

- 教員の多忙化を増大させ、免許の未更新が教職員未配置の要因になっている
- 直ちに免許更新制を廃止すべき

◎教職員組合以外の団体も、廃止を含めた抜本的見直しを求めました。
◇全国市長会 ◇中核市教育長会 ◇特別支援学校長会
◇全国高等学校PTA連合会 e.t.c.